

栗小だより

令和2年6月8日

教育目標

○考える ○助け合う ○やりぬく

電話 0256-93-2446 F A X 0256-93-1701

Mail aouzu-e@tsubame-city.ed.jp

Homepage <http://www.tsubame-city-ed.jp/aouzu>

大人になるための努力を③ 危機管理能力と思考力・判断力

校長 有本 千晴

今月の全校集会で、下の写真を児童に見せながら、次の質問をしました。写真を見てから、質問の答え

※写真は、紙面に掲載しました。

として考えたことを学級担任の先生に一人一人が発表しました。さらに、全校児童の前で発表してくれた子どももいました。

昨年度も、6月の全校朝会で同じように写真を見せて質問しました。これには、2つの目的があります。1つは、危機管理能力の育成です。学校には、児童に交通安全の指導をするよう、通知が届きます。特に、今年度は5月中旬まで臨時休業であったため、通学によりやく慣れる時期になりつつあります。気の緩みから、思わぬ危険を自分で招くこともあるかもしれません。子どもといえども、自分の身を守るのは自分自身しかないという気持ちで、日常生活を送ることが必要だと思います。自分が置かれている状況を踏まえて、適切かつ迅速に判断し、身を守るための最善の行動ができるよう、今後も危機管理能力を身に付ける指導を継続します。

もう1つの目的は、思考力と判断力を身に付けることです。安全確保のための「最善解」「納得解」を見付けるためには、その場の状況を踏まえ、真剣に考えて、速やかに判断することが不可欠です。

「本当にこれでよいのか」「もっとよい方法やできることがあるのではないか」と自分自身に問うとともに、他の人の考えや意見を聞いて、検討したり改善したりすることも必要だと思います。「最善解」「納得解」は、1つではありません。人それぞれで、意見が異なることも多々あります。それらの意見をまとめて、全員で同じ行動をするためには、話し合い、確認し、「納得解」「最善解」を得るための努力が求められます。

子どもたちが、これからの社会を生き抜くために、これからも、学校の教育活動全体を通して、危機管理能力、思考力・判断力を育てていきます。

自然災害に対する備え

－自分で安全を確保しよう－

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、地域合同避難訓練及び児童引き渡し訓練は行わないこととしました。学校では、6月と7月に火災と地震を想定して避難訓練をします。避難訓練では、自然災害について、次のことを指導します。御家庭でも、お子様が自分で安全を確保できるよう、御指導をお願いします。

1 地震 ＊その場で震度4以上の地震と判断した場合

- (1) 教室・・・机の下に頭を入れてもぐる。出入り口の戸を開ける。ガラスから離れる。
- (2) 体育館・・・入り口の近くに座る。ガラスから離れる。照明や天井の落下に注意する。
- (3) 特別教室・・・火を使った場合は、直ちに消火する。消火を確認し元栓を閉め、出入り口の戸を開ける。ガラスや戸棚及び機材、ガスの元栓等から離れる。
- (4) 音楽室・・・ピアノや重い楽器の側から離れ、出入り口の戸を開ける。ガラスから離れる。
- (5) 図書室・・・机の下に頭を入れてもぐる。書架やガラスから離れ、出入り口の戸を開ける。
- (6) 保健室・・・ベッドや机の下にもぐる。戸棚やガラスから離れ、出入り口の戸を開ける。
- (7) 廊下・階段・・・その場に座る。ガラスから離れ、頭部を守る。
- (8) グラウンド・・・校舎やサッカーゴール及びフェンス等の倒壊する可能性のあるものから離れて座る。
- (9) トイレ・・・ドアを少し開けて、できるだけ早く用を済ませて出る。
- (10) 登下校時・放課後
 - ① かばん・雨具・ヘルメット等で頭部を守る。
 - ② 建物・ブロック塀・電柱等から離れる。
 - ③ 狭い道、橋の上や川岸などから離れる。
 - ④ 最初の揺れがおさまったら、広い場所に移動し様子を見る。
 - ⑤ 物に挟まって動けないときや、周囲にけが人がいるときは、大声で助けを呼ぶ。
 - ⑥ 学校の近くにいるときには、学校に来る。それ以外は、自宅に帰る。自宅に到着したら、学校に連絡する。

2 豪雨・水害

- (1) 登下校中に豪雨や水害に遭った場合は、学校の近くにいるときは登校する。
- (2) 学校に来れない場合は、家に帰宅か近くの民家等に避難する。帰宅したら、学校に連絡する。

3 雷

- (1) 稲妻を見ない。
- (2) 屋内に避難する。鉄筋コンクリート建築物、自動車、バスの中などは比較的安全である。
- (3) 高さ5m以上30m以下の高い物体に対し、一番高い部分を45度の角度で見上げた範囲内かつ、その物体から3m以上離れた場所でしゃがんでいれば、比較的安全である。
- (4) 木の一番高い部分までに、途中で枝・葉が出ている場合は、その枝・葉からも3m離れる。
- (5) 休憩・放課後時
 - ① 雷が鳴ったら、屋外での活動をやめて、速やかに校舎に入る。
 - ② 緊急放送が入る場合は、静かに聞いて指示に従う。

4 強風

(1) 教室にいる場合

- ① 飛散物の影響を避けるため、窓を閉め、カーテンを引く。
- ② 窓ガラスからできるだけ離れる。窓の施錠をする。
- ③ 丈夫な机の下に入るなど、身の回りにあるもので、頭部を守るなどの姿勢をとる。

(2) 教室以外の校舎内にいる場合

- ① 風の通り道、すきま風の音が強い場所、ガラスの近くから離れ、壁に近い場所で避難姿勢をとる。
- ② 建物の最地階に移動する。

(3) 授業やクラブ活動、昼休みなどで屋外にいる場合

- ① 校舎内に入る。
- ② 物置やプレハブなどの仮設建築物などから離れる。

(4) 登下校中の場合

- ① 道路や家屋の飛散物に十分注意して下校する。
- ② 歩くときに、風に煽られて道路に出ないように注意する。特に、建物が途切れる場所では急に風が強くなる傾向があるので、それを想定して歩く。
- ③ 前を見て歩くことが難しいときでも、できるだけ周囲の安全を確認する。
- ④ 車のドアが風に煽られて大きく開き、ぶつかることもあるので、危険を予想して通る。

栗小っ子アルバム—5月—

「新しい生活様式」で、5月18日（月）から段階的に教育活動を再開しました。

田植え

5月14日（木）の登校日に、田植えをしました。お互いの距離を1m以上保つよう努めました。地域の方々の御支援をいただき、学校田を全部植えることができました。



給食指導

給食前の手洗いで、水道を1つ空けて使います。順番を待つときは、床に貼ったテープの後ろに立ちます。

給食当番は、3限または4限の前に検温します。

配膳するときは、テーブルや机を拭き、間隔を空けて待ちます。

同じ方向を向いて、各自の机で静かに食べます。

体力づくりの取組

本校の課題として、「体力の強化」があります。学校の教育活動の再開に伴い、臨時休業期間中の運動不足を補うことも兼ねて、全校で体力づくりに取り組んでいます。年間行事予定や校時表に次の時間帯を設け、計画的かつ段階的に体力の強化を目指します。

【ハッスルタイム】2限と3限の間の15分間に、ラジオ体操、体力づくりの運動、マラソン、なわとびなどを、5, 6, 8, 9, 10, 11, 1, 2月に行います。

【スマイルタイム】月、木曜日の12:55~13:15に異学年集団で取り組む活動の時間です。毎月1~2回程度、体力づくりの運動を行います。

【ハッスルタイム】5月19日(火)はラジオ体操をしました、5月26日(火)は握力、5月27日(水)は瞬発力の強化に関する運動をしました。



【スマイルタイム】5月25日(月)は、学年別に校内体力テストの練習をしました。低学年は反復横跳び、中学年は立ち幅跳び、高学年は50m走をしました。



これからの主な学校行事(予定)

月	日	曜	学校行事等	月	日	曜	学校行事等	
6	10	水	3年生給食指導	7	1	水	5, 6年生委員会	
			5, 6年生委員会		8	水	6限の日	
	12	金	全校漢字テスト		13	月	家庭学習強調週間(~7/19)	
	15	月	心の健康ミニアンケート		15	水	4~6年生クラブ	
	17	水	4~6年生クラブ		21	火	全校漢字テスト	
	19	金	Q-U		22	水	6限の日	
			4年生給食指導		29	水	6限の日	
	22	月	家庭学習強調週間(~6/28)		31	金	地域児童会	
			元気アップ週間(~6/28)		8	5	水	6限の日
			教育相談(~7/3)			7	金	1学期終業式
	24	水	6限の日		20	木	2学期始業式 下校 11:55	
			歯科衛生指導				個別懇談会(~8/24)	
25	木	校内体力テスト	21	金	下校 11:55			
26	金	スクールカウンセラー	24	月	下校 14:30			
29	月	全校計算テスト	※予定は変更されることがあります。					

